

◆主 題 名

郷土芸能を伝える

内容項目	C (16)	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度
教材名・出典	震災を乗り越えて―復活した郷土芸能―	
本時のねらい	郷土によって育まれてきた伝統と文化のよさを理解し, 郷土への誇りや愛着をもち, 郷土に対して主体的に関わろうとする実践意欲を育む。	
生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容	・どんな伝統文化を知っているか。(伝統文化を想起させる) ・東日本大震災の被害で, 津軽石地区の郷土芸能が途絶えてしまう危機を迎えた。壊滅的な被害で, これからの生活はどうなるのだろうか。	

中心となる発問を主題につなげるために必要な発問

- ① 長谷川さんや長洞くんは, どうして郷土芸能を復活させたかったのだろう。
- ② 大きな拍手が沸き起こったとき, 生徒のみんなはどんな気持ちだっただろう。
- ③ 長洞くんが, 後輩たちに「郷土芸能を自分たちの手で伝えていってほしい」のはどう

◆ テーマ

(中心となる発問)

地域で受け継がれる郷土芸能にはどのような意味があるのだろうか？

ねらいとする価値に迫るために・・・

◆学び合う

活動のねらい

 変容をねらう 多様さに気づかせる 考えを深めたり広げたりする
 その他 ()

ねらいを達成するための手立て

- | | | | |
|--------|-----------|-------|----------|
| 1 心情円盤 | 2 ネームプレート | 3 付箋紙 | 4 心のものさし |
| 5 ICT | 6 その他 () | | |

学び合う活動のスタイル

- | | | | | |
|------|------|------|------|-----------|
| 1 Pw | 2 Gw | 3 Fw | 4 Cw | 5 その他 () |
|------|------|------|------|-----------|

◆最後の振り返り

郷土芸能を伝えることができるのは, 「郷土に生きる人」であることに気づかせる。

授業後の反省

- ・伝統芸能を継承する大切さを伝えることが難しいと感じた。
- ・一部の生徒は米田浮流をやっているが他の生徒に伝統芸能のよさをより身近なものとして感じとらせるのが難しかった。
- ・文化発表会の取り組みと重ねながら構想を計画するとよりよい授業になると思う。
- ・震災から復興への明るい希望として伝統文化の再開が原動力となったことが少し伝わったと感じた。